

## 『継続すること・小さいことこそ大切に』

玉川小学校では、学校教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きぬく子供の育成」を達成するために、「継続すること・小さいことこそ大切に」をスローガンとして、日々の教育活動に取り組んでいます。また、しつきの3原則「返事・あいさつ・靴そろえ」の徹底を図っています。その中で、本校の特色ある取り組みを紹介します。

## 1 確かな学力向上のための指導

- 基礎・基本を確実にする授業と個に応じたきめ細かな指導の改善を図るため、算数科で、少人数指導、TT指導（チーム・ティーチング【複数の教員による】指導）を実施しています。
- 全校一斉で朝の読書に継続して取り組んでいます。児童が本にたくさん親しむことは、心の栄養や落ち着いて授業にのぞむ姿につながっています。
- 20年度から低学年の児童を対象に地域ボランティアによる本の読み聞かせを実施しています。
- 学校と家庭との連携を深め、家庭学習の定着を目指し、「家庭学習の手引き」を発行しています。
- ゲストティーチャー（年間22日）、ALT（年間12日）を招いて、外国語（英語）活動の充実を目指します。



全校一斉の朝の読書タイム

## 2 「玉小ふれあいフェスティバル」の実施

- 異学年との交流や地域の方々との結び付きを深める行事です。全校児童が参加できる「子供まつり」を計画、運営することで、児童の自主性を伸ばしていきます。上学年は、下学年に対して思いやりの気持ちを持って接し、下学年は上学年を慕うなど、学び合うことの多い企画です。また、保護者や地域の方々との交流を深め、人々とのかかわりの楽しさを味わわせています。



玉小ふれあいフェスティバルの様子

## 3 「地域子供サポーター」の活躍

- 児童を犯罪から守るため、「地域子供サポーター」を設置しています。「あいさつ運動」を通し交流することで玉川小学校の児童は、地域の人々から温かく見守られていることを実感しています。



地域子供サポーターさんの紹介

## しおがまっ子！むし歯ゼロを目指そう！！



市ではしおがまっ子のむし歯予防に力をいれています。平成23年度の1人あたりむし歯本数の結果3歳児健診では1人あたり0.56本でした。（平成22年度は1.02本）なんと県内35市町村中「1位」でむし歯が少ない子どもたちが1番多いという結果になりました。

## 『平成24年度 宮城県歯つらつファミリーコンクール』3組の親子が表彰されました！！

「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広めることを目的として、県歯科医師会が実施しています。3歳児健診を受診した幼児とその父母兄妹姉妹が対象です。11月17日の表彰式では、市から3組の親子が表彰されました。

宮城県知事賞  
最優秀賞川村 智恵さん  
理紗ちゃん

工夫したことは特にありませんでしたが、基本的なことはしっかりとしていました。朝・夕の仕上げ磨きと、夜はフッ素を塗っていました。上の子がいたので、1歳前から歯医者さんに通いフッ素を塗ってもらっていました。また、おやつは時間と量を決めて食べるようにしていました。



優秀賞

及川 由美さん  
久玲羽ちゃん

歯磨きを熱心にはしていませんでしたが、保健センターで教えてもらった歯磨きをして、夜に仕上げ磨きをするように心がけていました。歯磨きを嫌がる時期がありましたが、「お口の中にバイキンマンがいるからやっつけようね！」と声かけをしながら行っていました。



入賞

大友 仁子さん  
望未ちゃん

歯が生えるのが早かったので、4ヵ月から歯をふいたり、離乳食を始めた頃に歯ブラシをして慣れさせていました。まだ小さいので、歯磨きを任せすぎりにしないように、朝・夕の仕上げ磨きはするように心がけています。これから歯医者さんを通して、フッ素を塗ってもらおうと思っています。